工務店支援／IT

多彩な分野の専門家と連携
工務店による〝生活空間提案〟を支援
安心計画

住空間シミュレーション技術を活用した住宅営業支援のパイオニアである安心計画㈱（小山田隆広社長）は昨年から、収納のコンサル・コーディネートを専門に手掛ける㈱収納計画（平岡さなえ社長）と提携し、セミナー等を開催してきた。昨年12月10日には共同開発による収納提案サービス「Space」をリリース。両社のノウハウを取り入れ、お客様のニーズの高い収納に関して、３ＤプレゼンＣＡＤ「ウォークインホーム・プラス」を活用して提案することが可能になった。

具体的には、収納計画がこれまで蓄積してきた家物データに基づいたウォークインホーム・プラス専用の収納マスター２００アイテムを開発・搭載。平面図では伝わりにくい収納を、３ＤやパノラマＣＧでリアルに提案できる。さらに、ＶＲで「片付かない10年後の暮らし」をリアルに体験できるほか、すぐに収納提案に役立つ最新ＶＲデータを定期的に配信＝写真。収納をキーワードに暮らしやすい家づくりの基礎を学ぶ５時間の研修（１社２人まで）も開催する。

こうした収納計画との提携をはじめ、安心計画は、ユーザーの住宅関連企業にさらなるメリットを提供するため、さまざまな企業とのコラボレーションを強化。多彩なサービスを開発して、営業支援を充実させていく方針だ。

例えば、多くの工務店が施工事例写真をホームページ等に掲載しているが、住宅完成後に屋内の写真を撮っても家具などが入っていないため生活感が無い場合が少なくない。かといって施主が住み始めてからでは、逆にイメージ通りとはいかない場合もある。その点、米国では新築・中古物件に家具・インテリア等を持ち込んで写真を撮影したり見学会を開いたりする「ホームステージング」というビジネスが定着しているという。

こうしたビジネスを日本で手掛ける㈱ホームステージング・ジャパン（クハルスキー・ルーカス社長）と連携。住宅の室内の写真に、家具やインテリア、部材等のＣＧを、ホームステージング・ジャパンのノウハウを活かして配置するサービスも開発している。

医療関連のインテリアデザイン等を手掛けるメディカル・デザイン㈱（水口真理子社長）とも連携。クリニックなどの医療施設を３Ｄで提案できるように、専門的な機器・部材データも用意した。

小山田社長は「医師は自宅を建てるときに、住宅会社から３ＤやＶＲで提案を受けているのに、医療機関を新築・リフォームする場合にはいまだに図面やパースのみ。中小規模の店舗や事務所、施設を手掛けることが増えている地場工務店様や設計事務所様が活用できるように開発した」と語る。

このほかにも、２０１６年からは庭空間をトータルプロデュースする㈱タカショー（高岡伸夫社長）とのコラボレーションを進めているほか、インテリアプロデューサーの大谷泉氏と協力したインテリア提案も開発。会計ソフトや施工管理システム等との連携も進めている。

不動産事業者向けにパノラマ画像やＶＲコンテンツの開発・販売を手掛ける㈱スペースリー（森田博和社長）と提携した「共有計画」は、スマホやＰＣで、３Ｄパノラマ画像を体感できる。３６０度同期するため、遠隔地とのプレゼンや打ち合わせが可能。見学会・内覧会に来場したお客様に、その場で「共有計画」をダウンロードしてもらえば、その後の閲覧の頻度によって、工務店や不動産会社様は、お客様の見込み度を判断することもできる。

「建物を提案する〝住宅プレゼン〟から、暮らし方をまるごと提案する〝生活プレゼン〟へと、ワンランク上の提案を支援していきたい」と小山田社長。「これからも様々な分野の専門家と組んで、住宅関連企業様が多様なニーズに応えられるように開発に取り組む」と話している。

収納マスター200アイテム

配信VRデータ〝失敗しない収納ノウハウ〟